

東京学芸大学書道科同窓会

硯心会だより 第7号

発行
2021年4月1日

2020年度卒業・新理事挨拶

69期理事 江尻真子えじりまこ

この度、69期の理事に就任いたしました江尻真子と申します。学部生の間は、硯心会の先輩方には学年展や専攻展に足を運んでいただき、作品面・展示面等様々な場面において薫陶を受け、大変お世話になりました。今後は、東京学芸大学書道科・書道専攻を卒業した一員として、先輩方のお力添えができますよう、微力ながら硯心会の発展に尽力して参ります。至らぬ点もあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

卒業記念展のご報告

令和3年2月9日（火）～2月12日（金）の期間、東京芸術劇場展示ギャラリーにて令和2年度卒業生（69期）卒業記念展を開催いたしました。今年度は新型コロナウイルスの影響により、大学へ通うことも叶わず、卒業記念展の開催も危ぶまれました。そういった状況下で、四年間の集大成としての書作品を制作し、試行錯誤しながら、計50点以上もの作品を展示することができました。硯心会の先輩方にはご来場いただき、お花を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。69期としておこなう展覧会はこれが一区切りとなりますが、今後は硯心会の一員・同期生として関わり合い、先輩方とも交流をもてますと幸いです。

教職大学院での学びを経て

60期 松原直也

この3月学芸大学の教職大学院を無事修了した節目に、寄稿の機会をいただきました。この機会に、大学卒業からこれまでを振り返り、また新たな気持ちで取り組む力に繋がりたいと思っております。

私は、大学卒業後学芸大学の大学院に進学を決めていました。しかし、予期せぬことで家庭の事情が変わり、地元へ戻ることを余儀なくされ、その後2年間勤務し、大学院へ戻る環境が整い、再び上京となりました。大学院に戻りすぐ地元で書道の採用があり、無事地元に戻ることとなりました。大学院は中退することになるため、当時は大変悩みました。その後、現任校で勤務する中で、次第に中退した大学院への後悔が増していきました。そんな折、学芸大学の教職大学院が新たな形でスタートすること耳にし、受験し進学することとしました。採用されて4年の私は派遣の対象でもないため、大学院進学休業制度を利用し、三度目の上京をすることとなりました。

教職大学院では、自らの経験がいかせる部分もありましたが、それ以上に2年間講義や現職院生、学卒院生それぞれの新たな学びは大きく、視野が広くなったと思います。紆余曲折ありましたが、今春から再び教壇に戻れることを嬉しく思っています。

2年後には、地元で大きな大会を控え、校務との両立をしなければなりません。常に謙虚な姿勢を忘れず、新たな気持ちで邁進したいと思っています。

2020年度春季理事会報告

日時 2021年3月6日(土)

14時～16時

場所 アルカディア市ヶ谷

- 1 長野秀章会長あいさつ
- 2 加藤泰弘理事長あいさつ

- 3 本部事務局より

- ① 本日の出欠席について

- ② 新部局員について

理事長より、書展部に近藤はるか、林美月、中村学行、永田明（敬称略）の加入報告があった。

- 4 報告事項

- ① 第39回硯心会書展について

(殿村美奈子部長)

出品者数 74名(前回展101名)

作業分担 記載省略

▼変更点、反省

・コロナ禍による出品者数の減少(27名減少)

・会計業務の簡略化

・新型コロナ対策の実施

- ② 第44回学芸書道全国展について

(西澤 憂部長)

・人数を最小限でおこなったこともあり、各作業の十分なチェックがとおえなかったことから生じたミスがあった。(現在も対応中)

・次年度以降は、個人による出品は認めない、複数団体からの出品につい

ての今後の検討についても報告があった。

- ③ 本部事務局より(草津祐介)

・今年度以降の会計報告について、残高証明の添付をしたうえで監査および会計報告をすることを、各会計にお願いした。

・福田みどり理事からの情報提供について紹介。

・今後の理事会資料の事前送付についての方針説明。(詳細略)

・本年度の東京学芸大学書道専攻卒業制作展に、同窓会よりお花を送った。今後も同様に送っていききたい。

- ④ 名簿発行について(草津祐介)

予定通り名簿を発行した。

- ⑤ 会計監査報告

本年度は新型コロナ流行の影響により延期となった。

本年度は新型コロナ流行の影響により延期となった。

- 5 審議事項

- ① 2021年度の行事について

(理事長、本部・草津祐介)

・2021年度は8月14日(土)～

21日(土)に東京都美術館一階第四

公募展示室にて、学芸書道全国展を

開催し、審査員の展覧会という位置

づけで硯心会書展を開催する。(16日

(月)は休館日)

会場は入口すぐからの半分を学芸書道全国展、後半半分を硯心会書展

が使用。突き当りのスペースを企画展に使用する。

・同期展は杉山勇人理事の50期にお願いします。

・合同懇親会は、第40回を記念し8月21日(土)18時から開催予定であるが、新型コロナ流行の状況をみながら、6月末に開催の是非を判断し通知する。

・2021年度のスケジュールについて、理事の皆様には7月22日の作品

審査、8月13日搬入、8月21日理事会、総会、懇親会(開催の場合)、搬出に

ついて、ご協力いただきたい。

・2022年度以降5年間は8月22日

～30日の週にて東京都美術館2階第

4展示室の予約がとれた。

- ② 硯心会書展記念行事について

(岩切 誠副会長・実行委員長)

「草創期教官の書」を主催、展示する。ここでは、草創期の教官の書

作品を展示し、写真、略歴などのパ

ネル、年表パネル等を展示する。また、

冊子を作成する。冊子は作品、略歴、

文章、思い出の記(～10期)、思い出

写真等を掲載する。

- ③ 第40回硯心会書展について

(殿村美奈子部長)

・作品規定のサイズについて、横幅1メートルとあるが、6尺の横展開を

飾れるようにしてもらいたい。↓部局で検討する。(その後の検討で横幅2メートルとした)

・折帖、卷子等、ケース等で展示するものについて、要項に記載は必要ないか。↓要項に記載し、出品票に欄をつくる。

・新卒1年目については、硯心会になじんでもらうという意味でも、出品料を無料にしたい。↓承認

・買取パネルについて表具価格表に記載がないので確認してほしい。

④ 第45回学芸書道全国展について
・前回理事会でご意見のあった作品サイズおよび出品料については、今回、会場が東京都美術館にうつるということ、その対応に集中するため、次回に向けての検討課題としたい。

・今回は第45回ということ、第45回展記念賞」を授与したい。

・「文部科学大臣賞」については、今年申請をしたい。(本部) ↓授与されるかどうか未知であるため、今回の要項には授与しない。

- ⑤ 交流展について

今年度の三国展については、北京にて開催予定であるが、新型コロナ流行の状況を見つつ、最終的な判断は8月末には判断をしたい。

開催の場合、例年通りの後援をお

願いたい。

願いたい。

願いたい。

願いたい。

願いたい。

願いたい。

願いたい。

願いたい。

⑥ その他

今年も、昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響下での運営となる。今回ご承認いただいた件についても、理事長の判断により、急な状況の変化に対応するために変更等する場合があります(本部・草津)

6 岩切 誠副会長あいさつ

硯心会書展出品のお願い

2021年度の硯心会書展について、8月14日(土)～21日(土)、東京都美術館にて開催されます。サイズ、出品料は次の通り。

・サイズおよび出品料	表装後サイズ 横2m×縦4m以内
区分	出品料
一般	2万円
卒業後3年以内 院生および研究生	1万円
新卒生 (卒業後1年目)	無料

・締め切り 6月30日(水) 必着
 出展要項 出展者へ <http://kenshinkai.grupo.jp/kenshinkaishoten> (以下QRコードからも接続可) からダウンロード、または、事務局までご請求ください。出品何卒お願いいたします。



学芸書道全国展出品団体募集

2021年度の学芸書道全国展について、次の要項にて児童・生徒(全国小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の児童及び生徒)の作品を募集いたします。教えていらしゃる児童・生徒の皆さんのご参加をお待ちしております。

受付期間 7月12日(月)～17日(土)

要項指定の郵送方法に限る

サイズ 半紙、半切(縦長使用)

整理費 半紙500円、半切1000円

審査会 7月22日(木・祝) 10時30分～

東京都美術館審査室にて

審査員 硯心会会員・出品団体責任者

個人賞として東京学芸大学学長賞等を

授与する他、すべての出品作品に賞状が

授与され、出品作品は原則すべて返却い

たします。また、優秀な団体には団体賞

を授与します。

出品書類一式の請求については、

<http://kenshinkai.grupo.jp/seikyuu>

(以下QRコードから接続できます) からダウンロード、または、事務局までご請求ください。



会員動向

廣瀬裕之(29期・副会長)

『増補版 刻された書と石の記憶』

(武蔵野大学出版社)

日本に碑文化が伝わった後、日本では中国とは大きく違うタイプの碑が多くつくられるようになった。それが文学碑であり記念碑である。本書は、武蔵野市玉川上水沿いの文学碑、記念碑について、文献とフィールドワークという手法によって研究したものである。碑の建てられた背景、銘文の内容だけでなく、「書」そのものや「刻」さらには「石」についても論究されているところが本書の大きな特徴である。

本書を読んで特に印象に残ったのが、第三章 松本訓導殉難碑考「二五、採拓作業」である。採拓の許可をとるエピソードから採拓の様子まで、

フィールドワークの「生」が伝わってきた。本書からは研究の「生」が伝わってくる。

本書を読んで、身近にある碑文化に触れずに散歩に出かけ、碑の記憶を探りに出かけてほしい。(編集担当)

構成

第一章 国木田独歩・三鷹駅北口詩碑考

第二章 国木田独歩・桜橋畔文学碑考

第三章 松本訓導殉難碑考

第四章 桜樹接種碑考 一小金井桜と

下田半兵衛・賀陽玄雪の書

増補版 刻された書と石の記憶

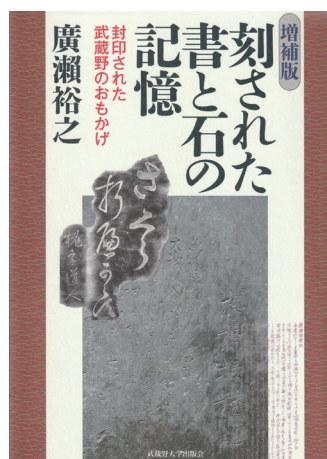
廣瀬裕之 著

武蔵野大学出版会

2020年12月4日

2500円(本体)

ご注文は全国の書店、インターネット書店から可能です。



阿部 浩(33期)

『良寛物語手毬と鉢の子』(北越出版)

——新潟県在住の阿部氏が2010年の暮「来年は良寛没後180年」ということで、新美南吉の『良寛物語 手毬と鉢の子』の復刊を志し、3年を経て実現させたものです。

巻末には、30頁ほど阿部氏による作品解説とおなじみ「上州屋」の看板四種、「小川未明・宮澤賢治と良寛」の考察が付されています。

阿部氏の郷土愛、書と文学への熱い思いを皆さんにお伝えできればうれしいです。(福田みどり・32期理事)

小学校5年生のころ、図書館にあった新美南吉全集読破にチャレンジしていました。第4巻の半分は『良寛物語 手毬と鉢の子』という長編でした。一般に知られていない作品ですが、内容の良さと我が越後の先人というところで、心に残り続けました。2013年前後が良寛没後・南吉生誕の節目ということに気づき、地元出版社に復刊を提案しましたが、実現せず、自費復刊することにしました。一年半かけて本文と僭越ながらの解説を入力し、500部刊行しました。半年で完売し、南吉生誕101年記念展には記念館内に展示

されました。皆様感謝です。

拙編は現在古書でしか入手できません。ご興味ある方は以下に連絡ください。解説部分のコピーをお送りいたします。

阿部 浩(33期、新潟県上越市立直江津東中学校教諭)
090-2645-2317(16時半以降の連絡をお願いします)



左は本稿紹介のもの。右側は、異なる本文テキストで後日刊行された中日新聞のもの。

『良寛物語 手毬と鉢の子』
阿部 浩 編
2013年6月1日発行
北越出版、A5判238頁
1800円(本体)

各硯心会書展開催予定

第43回埼玉硯心会書作展

令和3年8月9日(月)〜12日(木)

埼玉会館第三展示室(予定)

第15回群馬硯心会書展

令和4年1月7日(金)〜11日(火)

高崎シティギャラリー

※新型コロナウイルス感染拡大等の社会情勢により右のスケジュールは変更される可能性があります。

個展・同期展開催案内

これから開催予定の硯心会会員による個展・同期展の情報を紹介いたします。新型コロナウイルス流行の状況により、掲載内容が変更となる可能性があります。

28期高橋敏行氏の個展開催案内

以下の通り、開催が変更

高橋敏行書作展

2021年7月19日(月)〜25日(日)

10時〜19時

(初日13時より、最終日18時まで)

船橋市民ギャラリー三階第四展示室
(船橋市本町2-1-1スクエアビル3階)

※最寄り駅JR船橋駅、京成船橋駅



展覧会(個展、同期展)の開催予告、開催報告、出版等の情報を事務局・草津までお寄せください。(メールでご連絡で返事がない場合はお手数ですが郵送等でお知らせください。次号で紹介させていただきます。)



訃報

小松 進

32期

謹んでお悔やみ申し上げます。



編集後記 「硯心会だより」第7号をお届けします。最近外出の機会が大幅に減ってしまいました。当たり前であった日常の価値を改めて感じる日々。皆様ご自愛ください。8月に都美で会えることに期待して。

硯心会HP

http://kenshinkai.grupo.jp

発行 硯心会本部 ☎184-8501

東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学 加藤泰弘研究室

編集 硯心会事務局 ☎124-0011

葛飾区四つ木4-4-12 草津祐介

メール usk932@hotmail.co.jp

